

昭和62年度

# 第 42 回

第1期 ■書道 1987年11月13日(金)→17日(火)

# 徳 島 県

第2期 ■日本画・洋画・写真・彫塑・美術工芸・デザイン 1987年11月19日(木)→23日(月)

# 美 術 展

徳島県郷土文化会館 徳島市藍場町2丁目 電話0886(22)8121

主催 ■ 徳島新聞社・徳島県美術家協会・徳島県芸術祭執行委員会

第42回

〈昭和62年〉

# 徳島県美術展

作品集

日 本 画  
洋 画  
写 真  
彫 塑  
美 術 工 芸  
書 道  
デ ザ イ ン

主催

徳島県芸術祭執行委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後援

NHK徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

徳島県高等学校文化連盟・徳島の文化を進める会

# 審査員

(敬称略)

①住所②所属団体・役職名③経歴・受賞歴など。



## 【日本画】 松本 哲男

①栃木県宇都宮市御幸本町4634-8 ②日本美術院同人③日本美術院賞(大観賞)2回、奨励賞5回、春季展賞1回、春季奨励賞6回、第34回芸術選奨文部大臣新人賞、文化庁現代美術展3回、各受賞。



## 【書道】 桜井 琴風

①静岡県藤枝市小石川町1-2-31 ②奎星会参与(元副会長) ③毎日書道展運営委員・大賞選考委員・会員賞選考委員。



## 【洋画】 國領 経郎

①横浜市港北区菊名4-5-24 ②日展評議員、新日洋展副委員長、神奈川県美術展委員会委員③東京美術学校卒、東京都指導主事、横浜国立大学教授、大学美術教授会理事長。光風会賞、日展特選、日展会員賞、第2回宮本三郎記念賞、神奈川県文化賞、日展内閣総理大臣賞。



## 【書道】 黒野 清宇

①名古屋市名東区亀の井2-179-2 ②日展会員、読売書法会理事、日本書芸院常務理事、日本かな書道会理事長③日展特選、委嘱を経て審査員、愛知県芸術文化選奨文化賞、現在愛知教育大学教授。



## 【写真】 岩宮 武二

①大阪市淀川区新北野1-11-23ハイム北野115号②大阪芸術大学教授、日本写真協会理事、民族芸術学会会員③日本写真協会賞、毎日芸術賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞。

## 【書道県内鑑別委員】

〈漢字〉新居藍州、高原清泉  
〈仮名〉田中双鶴、讃岐泰泉  
〈近代詩文〉荒井天鶴、久保幽香  
〈前衛〉田中栢翠、前川古舟



## 【彫塑】 木津 一夫

①茨城県古河市下山町16-8 ②二紀会理事・審査委員、茨城県美術展委員、二紀会茨木支部長③二紀30周年記念展大賞、37回二紀展宮本賞、国際科学技術博覧会憩の広場出品、二紀40周年記念展文部大臣賞。



## 【デザイン】 サイトウ・マコト

①東京都港区南青山5丁目15番9号フラット青山306②ADC会員、日本グラフィックデザイナー協会会員③ワルシャワポスタービエンナーレ展特別賞2回、'83東京アートディレクターズクラブ展最高賞、日米グラフィックデザイン展金賞、国鉄ポスター展グランプリ、インターナショナルポスタートリエンナーレ展金賞など。



## 【美術工芸】 浅野 陽

①神奈川県南足柄市塚原玉峯4351 ②東京芸術大学陶芸科教授、日本工芸会正会員 ③東京美術学校卒。朝日陶芸展受賞、日本伝統工芸展に出展、フランス・パロリス陶芸ビエンナーレ展受賞、出版物に「酒呑のまよい著」「陶芸四季」「技法入門シリーズ陶器をつくる」などがある。



# 審査員総評



## 〈写真〉

審査員 岩宮 武二  
(大阪芸術大学教授)

出品作の技術的レベルは全体的に高く、以前にも増して充実したその内容に感激した。他県の県展の審査員も務めた経験から評価すると、全国的に見ても、徳島の写真界の水準の高さは秀でているといえる。作品は片寄らず、バラエティーに富んでおり、それぞれのジャンルで、たくさんのいい作品の中から、いいものを選ぶという非常にぜいたくな審査ができた。選ぶのに苦労したが、それだけに楽しくもあった。

県議会議長賞の岩崎英昭「空間」は、人間が作り出すことができない、二層の雲が織りなす絶妙な自然現象を、一つ一つの雲や

光の在り方まで微妙、微細にわたり克明にとらえた。秀作が少なかった風景写真の中で、そのパーフェクトさが光る。作者がもう一度、同じ場所に立つことができても二度と同じ作品は撮れないだけに、一瞬のチャンスを大切にすその「一期一会」の精神を高く評価したい。

特選の橋本圭祐の「跳る」は、人の足が宙に浮き、ドロのしずくをバチャと跳ね上げる瞬間を高速シャッターによる絶妙なシャッターチャンスで実にタイミングよくとらえた秀れた作品。フレーミングも適格である。

荒井賢治の「サリー」。インド・ジャセルメル一帯の人たちは衣装に赤を好むが、この作品は鮮やかな原色が見事に生かされ、強烈な印象を受ける。フレーミングも鋭く感性のさきが光る。山口元彦の「雨足」は、どしゃぶりの雨の中でカメラを取り出した作者のアクティブな姿勢が生み出した非凡な作品。男を下半身だけ切り取ったそのフレーミングは見事というしかない。



## 〈彫塑〉

審査員 木津 一夫  
(二紀会理事)

徳島で初めて審査を担当したが、審査の対象にならないような低次元の作品は非常に少なく安心した。いい指導者に恵まれた結果だと思うが、彫刻熱の高さがうかがえた。作品内容もバラエティーに富んでおり、よかった。具象作品がほとんどだが、面がさつきが見られるなど、全体的に肉づけ（モデリング）に問題がある。モデリングをもっと大事にし、その適格さと工夫が欲しい。ただ、今回、抽象作品があまり少ないのには驚いた。四国の土地柄からしても、石の彫刻などがもっと出品されてもいいと思うが残念な気がする。出品作を見ても、抽象彫刻の本来の意味を十分に

理解できていないためか、発想があいまいで、構築もしっかりしていない。今後の課題として、もっと多くの抽象作家が育つことを期待したい。

県教育長賞の吉田真理子「潮風」は、足先から頭に至るまで終始、制作のリズムを崩さず、作品名通りにそのさわやかさや若々しさが見事に表現できている。作品には緊張感があり、体のリズム感もよくとらえている。彫刻の基本を大事にしているため、作品の意図がはっきりと表現でき見る人にも作意が十分に伝わってくる。

準特選の小林正則「立つ」は、腕組みをしたポーズは難しいが、しっかりとした表現力で巧みにまとめている。肉づけの適格さも見事。

準特選の渋谷吉昭「待つII『遠くに空がみえる』」は、そのはっきりと空いた空間に作者の心の思いを表現した発想がおもしろい。心の明るさを夢見ているのか、作品に隠された意図や思想に強い関心と期待感を覚える。

# 写真



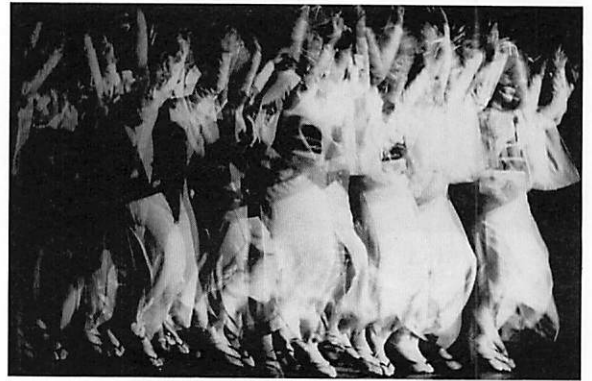
特別出品 荒ぶる海 福島 正仁



招待 写真 木田 英之



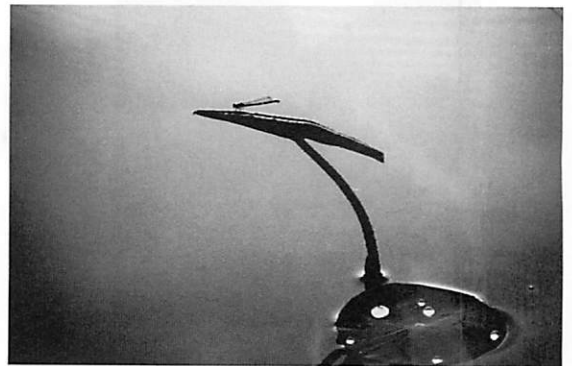
招待 阿寒 増田 清次



招待 乱舞 井上 光雄



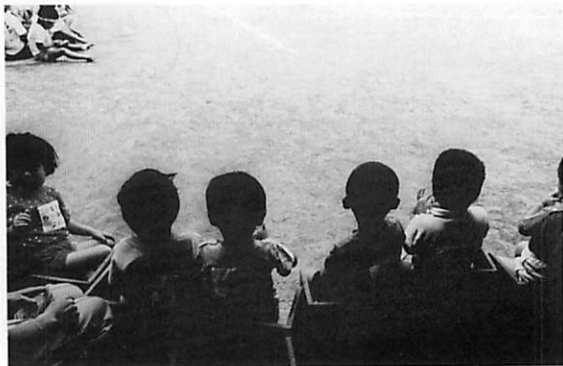
招待 晩秋 西條 征二



招待 夕映え 藤井 梵



招待 WINDOW 勝西 雅夫



招待 かぼちゃん達 (手づくり運動会)  
武内 亨



招待 波 涛 笹田 敏雄



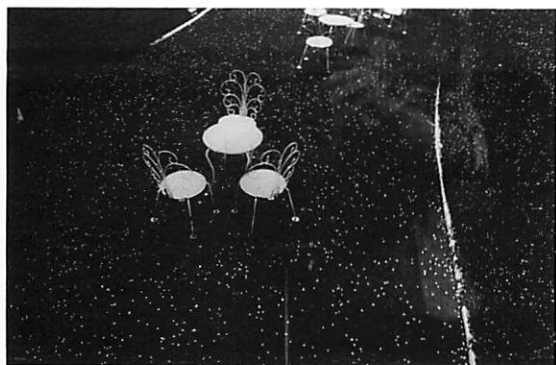
招待 明 鳥 榎 潤 魏



招待  
刻のメッセージ  
酒井 博司



招待 RAKUEN 三好 和義



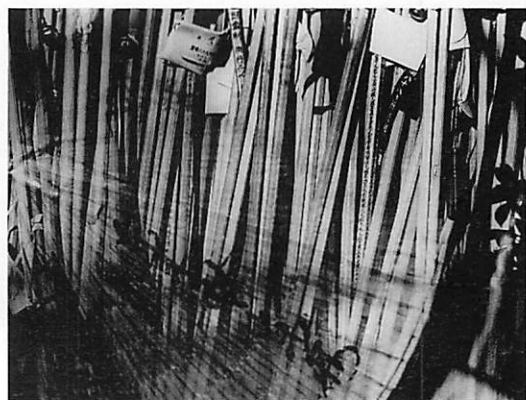
招待 プロムナード 上野 照文



無鑑査 初秋 前浦 芳久



無鑑査 奈良町寸描 古井 謙吉



無鑑査 大窪寺の印象 多田 晴美



特選・徳島県議会議長賞 空間  
岩崎 英昭



特選 雨足 山口 元彦



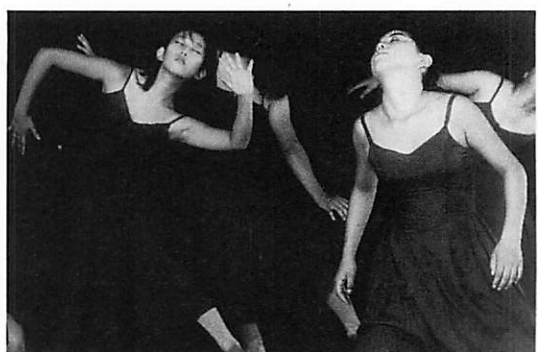
特選 跳る 橋本 圭祐



特選 サリー 荒井 賢治



準特選 弾痕 森 賢一

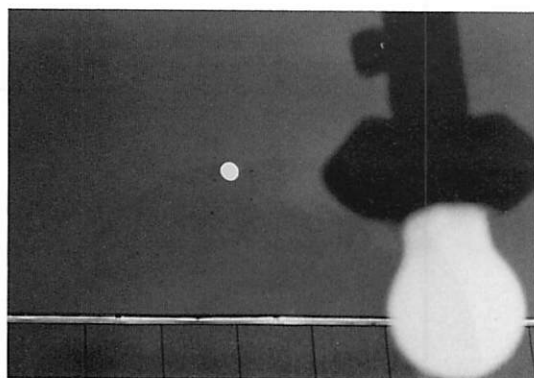


準特選 憂 安長 剛

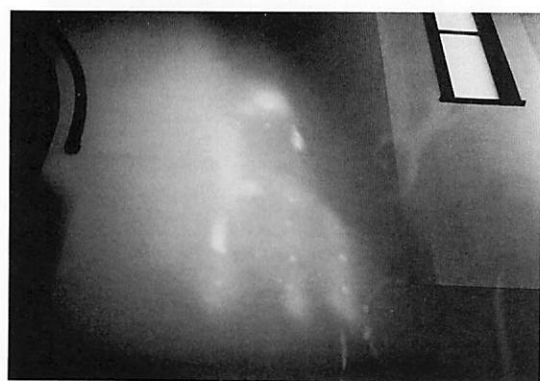




準特選 出番前 富永 仁一



準特選 夕月 宮城 高士



準特選 祈り 井藤 光幸



準特選 雨の日 船越 正文



準特選 誕生 佐野 辰夫



準特選 戯れ 勢喜 雅章

## 第42回県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫塑	美術工芸	書道	デザイン	計
区分									
出品数		76	289	728	44	104	985	134	2,360
人数		68	195	167	36	72	567	108	1,213
入選	率	63.2%	33.6%	29.4%	68.2%	50.0%	43.1%	20.1%	37.8%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	4	2	18
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	43	89	202	27	47	408	22	838
	計	48	97	214	30	52	425	27	893
落選	率	26.8%	66.4%	70.6%	31.8%	50.0%	56.9%	79.9%	62.2%
	落選	28	192	514	14	52	560	107	1,467
招待等	招待	7	10	12	6	8	30	0	73
	無鑑査	1	0	3	1	1	7	2	15
	特別出品	1	2	1	0	0	3	1	8
	賛助出品	4	17	0	0	1	0	0	22
	計	13	29	16	7	10	40	3	118
展示数		61	126	230	37	62	465	30	1,011